

「平和」を合言葉に、環境・福祉の
充実に努めます

社民・市民ネット

かつまた竜大 秋本のり子 湯浅 止子

いまだに収束しない福島原発事故を私たちは忘れません。「脱原発」をめざしエネルギー施策に力を注ぎます。昨秋、中国・韓国との領土問題が噴出、「あわや」という不安をぬぐえません。そして国の政治の乱れは即、地方に響いてくることも身にしみました。本市の財政は義務的経費の自然増により厳しいものですが、「人権」のフィルターに掛け選択と集中に努め情報公開も進めます。少子高齢社会の時代に住み続けられる街として本市が市民のニーズを的確につかむ努力をするようにチェックしてまいります。待機児童の改善、高齢者施設の多様化を進めバリアフリーの街づくりに努めます。次代を担う子ども達の成長のために教育サポートにも重きをおきます。この一年の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

公明党

戸村 節子 中村 義雄 西村 敦
浅野 さち 宮本 均 大場 諭
堀越 優 松葉 雅浩

「大衆とともに」
市民の声を受け止め政策に生かす

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、温かいご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。昨年は、防災対策が急務だとして、4月から市各地域で防災セミナーを開催し自助・共助・公助の重要性について学ぶ機会を設けていただきました。多くの市民の皆様から大きな反響が寄せられました。これからは、必要な社会インフラを整備し、女性・高齢者などの視点で地域防災力を強化してまいります。経済情勢が極めて不透明ななか、少子高齢化現象のみがクローズアップされ雇用不安、老後不安等が高まるなか、市民にどのように夢と希望をもっていたのか、自治体行政の真価が問われております。私達は、こうした問題の解決方策や予算の決定にあたり、議会で政策議論をしっかりとてまいります。公明党は「大衆とともに」の立党精神に基づき、これからも市民に密着してニーズ（要望）をしっかりと深くつかみ、将来の市民生活や市民の利益を見据えて、福祉・教育・文化・街づくりの政策を作り上げ「市民生活の向上」の先頭に立ってまいります。今年一年間の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

民主・連合

佐藤 義一 石原よしのり
守屋 貴子

次世代が希望に満ち安心して暮らせる社会を
新年おめでとうございます。内憂外患、決して明るい見通しを持ってない昨今ですが、こんな時だからこそ地域から変えていかなければなりません。私たちは、一般の勤労者や市民の声を一層市政に反映し、まじめに働く者が報われ幸せに暮らせる社会の実現をめざします。長引く景気低迷ですますます市財政が厳しくなる中、税金の使途を厳しくチェックし、選択により行政サービスの充実を図ります。そして、次世代が希望に満ち安心して暮らせるよう、原発ゼロをめざす立場を明確にし、放射能対策、環境保全、子育て支援に取り組んでまいります。これから地方分権が進み、ますます地方議会の役割が大きくなっていくことから、わたしたち議員もよく勉強し政策立案の能力を高めてまいります。

日本共産党

金子 貞作 高坂 進 清水みな子
桜井 雅人 谷藤 利子

命、くらし最優先の市政に
全力をつくします

3・11東日本大震災後、政治のあり方が問われています。福島原発事故後、原発なくせ、再稼働反対の声は日本国中に広がり、国会軽視の民・自・公3党合意による消費税率引き上げ、オスプレイの沖縄配備、TPP交渉参加などに反対する声が大きくなっています。この市川では党市議団が行った市政アンケートに対して、「保育園、特別養護老人ホームの待機者をなくしてほしい」「国民健康保険税、介護保険料を引き下げてほしい」「住宅リフォーム助成制度を作してほしい」、社会保障の負担が重いとの声が85%にも及び、市民の権利と人間らしい暮らし、平和、安心を求める声が寄せられています。特別養護老人ホーム待機者ゼロ署名は8000以上集まり、要望が高まっています。今年は国政選挙、県知事選挙、市長選挙などがあります。日本共産党市川市議団は今まで以上に、住民の願いに応え、政治の中身を変えるために頑張ります。

自由クラブ

井上 義勝 加藤 武央

「市民が市政の主役」

議員新年。外環、都市計画道路3・4・18号の供用開始予定まで残り3年余りとなりました。人口減少が実際のものとなった本市では、これら南北交通網を活かした街づくりと共に教育、福祉等魅力に富んだ取り組みが重要です。市民が市政の主役の視点で臨みます。

ボランティア

鈴木 啓一

「やることは」やる

住み良いまちを市民と共に取り組んでまいります。本八幡A地区再開発事業一期工事（マンション40階・京成本社）いよいよ完成。

新生市川

小泉 文人 青山 博一

新しい行政の
カタチを目指して！

平成25年の幕開けを謹んでお慶び申し上げます。私たち新生市川は、市民の「生命と財産を守る！」を合言葉にして、新しい時代にマッチした行政のルール作りに取り組んでいます。不慣れた市役所では無く、明るく行きたくなる市役所を目指して頑張っています。

市川未来の党

越川 雅史

(平成24年12月3日届出)